

国労水戸

国労水戸地方本部
水戸市中央1-1-11
ENYビル2F
029-221-4008
発行責任者 塚原良雄
編集責任者 坂下 司

全組合員で組織拡大を

4月2日の全支部、分会長・書記長会議を始めに、新採者の国労加入に向けて各支部・分会で集会・会議が行われた。

入社おめでとうございます

4月25日の研修所前行動ではチラシ配布を行い国労宣伝行動

4月16日、東京都内において国労シンポジウムが開催されました。坂口委員長あいさつより2011年の採用差別事件

JRの安全輸送と地域公共交通を守る

全組合員での組織拡大を意識した取り組みが必要です。私たちは安心して、健康で文化的に生きることが念頭に運動を勧めてきました。国労結成70年の歴史を作



三江線の維持・存続に向けて、山本島根県議会議員から講演を受けた。高齢者の移動の権利、交通基本法案を、JRに社会的責任をもとめる。

福田護弁護士をコーディネーターとしてパネルディスカッションを行った。東日本本部佐藤書記長より要員の大幅削減、大きな事故が続いている。駅委託化、関連会社の事故も多い。

島根県議会議員から地方交通線廃止、住民だけの問題ではない。

北海道本部島見書記長より安全対策の危機意識が薄い。JR発足後、新人が入ってこない。まとめとして唐澤書記長より公共交通としての使命を果たし国民の足を守り安全安定輸送の確保に向けて取り組むことを国労が取り組んできた。

熊本地震に関して

今現在も余震が続く九州地区では避難生活を余儀なくされています。熊本地震で亡くなられた方々のお悔やみを申しあげ、また被災された方々のお見舞いを申しあげます。

水戸地本でも2011年東日本大震災には九州や全国から支援をいただいた経緯もあり、東日本本部を通じて確認をしながら支援をしていく考えです。



解決、大震災があり、新幹線、地方交通線の問題など

多くの課題があります。分割民営化から30年JR体制の検証と課題として埼玉大学安藤教授から講演を頂いた。分割・民営化によってJR三島、JR貨物は経営的に厳しい。JR路線の分断・縮小や安全輸送に問題がある。国労が結成70年を迎えたことの意味を知り、公共交通・国民の足を守る運動を続けてきた。

第13回活動家交流集会

6月5日(日)
オーシャンビュー大洗

結びつき
つながり生かして
大胆に
国労加入を
断えよう!